

第5回津別町議会臨時会『行政報告』

本日ここに第5回臨時会を招集いたしましたところ、議員各位には極めてご多忙のところご出席賜り、厚く御礼申し上げます。

ただいま発言のお許しをいただきましたので、9月定例会後の行政報告を申し上げます。

はじめに、**叙勲**についてであります。平成30年秋の叙勲において、津別町字緑町 日下太郎様が、北海道議会議員を永年務められた功績により、旭日双光章を受章されました。この度の栄えある受章に対し、心より敬意を表するものであります。

次に、**高齢者に対するお祝い**についてであります。9月25日、26日、今年度に満百歳を迎えられる畑山ツル子様、後藤アキエ様、秋保マサ子様の3名を訪問し、老人の日記念事業として、内閣総理大臣からの祝状と記念品の贈呈を行いました。今後とも益々のご健勝をご祈念し祝意を表したところであります。

次に、**第4回全国木のまちサミット2018 in つべつ**についてであります。10月11日、中央公民館において、林野庁、北海道、全国の関係市町村、林業・林産業関係者、消費者、町民等約300名が参加する中開催されました。

国産材、地域材の活用推進を広く全国にアピールすることを目的とし、宮脇^{しげる} 慈 林野庁木材利用課長補佐の基調講演と、東京都市大学特別教授で造園家である涌井史郎氏の記念講演のほか、4団体から課題別事例発表が行なわれ、最後に「われら木のまち」宣言を採択し、国産材利用推進による、林業・林産業の成長産業化と地方創生を誓い合ったところです。

また、このサミットは、北海道命名150年記念事業の一環とされていたことから、アトラクションとして、阿寒アイヌ工芸協同組合によるアイヌ古式舞踊も披露され、翌12日は、丸玉木材株式会社等の町内視察を行い全日程を終了したところです。

次に、**第30回住生活月間功労者表彰**についてであります。10月13日、栃木県宇都宮市において、国土交通省主催による「第30回住生活月間」表彰式があり、平成28年建設の西町団地が国土交通大臣表彰を受賞しました。これは、町内の合板工場で生産された針葉樹合板を内外装材に採用するとともに、暖房設備に町内で作られた木質ペレットを使用して地域内循環を図っていることが評価されたことによるものです。なお、平成28年の「第28回住生活月間」表彰式において、旭町団地が住宅局長賞を受賞しましたが、今回はこれを超える受賞となりました。

次に、**第29回東京つべつ会総会の開催**についてであります、
10月28日、東京都主婦会館エフプラザにおいて、会員ほか関係者64名が出席し開催されました。津別町からは鹿中議長、乃村議員、石橋商工会長、宮川農業協同組合常務理事も出席され、盛会のうちに終了したところです。来年は記念すべき30回となりますが、役員や会員の皆様には、今後ともふるさと津別の応援団として、ご支援、ご協力をお願いしたところです。

次に、**まちづくり懇談会**についてであります、今年度は「まちなか再生基本計画と庁舎建設の進捗状況について」をテーマに、10月9日から11月7日までの間に17箇所で開催し、177名（去年は296名）の参加がありました。多くの貴重なご意見を伺えましたことに感謝をいたしますとともに、開催にご協力をいただきました自治会等関係者の皆様に、あらためてお礼を申し上げる次第であります。

次に、**丸玉木材株式会社からの寄附**についてであります、11月5日に丸玉木材株式会社を訪問し、大越社長に対し、「丸玉木材森づくり基金」の運用状況の報告を行ないました。また、11月20日には、副町長が同社を訪問して松岡工場長に対し、平成30年度の寄附のお礼を申し上げたところ、町への寄附は、平成30年度ま

でとの約束でしたが、来年度以降3年間、毎年500万円の寄附を継続するとのお話がありました。

改めて丸玉木材株式会社に感謝の意を表しますとともに、今後とも「丸玉木材森づくり基金」による、愛林のまち緑資源を守る推進事業を継続し、本町で実施する造林や除間伐などの森林整備事業に助成を行い、豊かな森林の育成に努めて参る考えであります

次に、高台配水池横の資材庫の火災についてであります。11月26日15時16分頃、高台配水池横の資材庫から出火し、44.6㎡を全焼しました。この建物は、昭和38年に資材庫として建設され、内部にはメーターボックス7個、使用できない量水器、古い机やストーブ等を保管し施錠していました。

翌27日9時30分より、水道グループ職員立会いのもと、消防、警察、北電の三者で現場検証を行ないましたが、この時点で原因は特定できませんでした。周囲に建物がなく延焼はありませんでしたが、原因が特定され次第、改めて報告させていただきます。

なお、今議会におきまして、条例改正、補正予算等の議案を提出いたしますので、慎重にご審議の上、原案にご協賛賜りますようお願い申し上げます。